

# 【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2020年 10～12月期の景況 / 2021年 1～3月期の見通し

**宇部市内における中小企業の業況は、全産業が回復の兆しが見える。**

## 今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2020年10～12月期の実績と2021年1～3月期の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から18.3%の回復となった。業種別では、卸売業は▲45.0%から▲10.5%へ、建設業は▲48.0%から▲16.7%へと大幅に回復、製造業は▲73.7%から▲64.7%へ、サービス業は▲52.2%から▲45.5%へ、小売業は▲36.8%から▲31.3%への回復がみられた。

来期の新規設備投資については、今期より12.1%も減少する見込みとなった。

経営上の問題点については、建設業は18期連続で「従業員の確保難」が1位となった。なお、5期連続の製造業と2期連続の卸売業では「需要の停滞」が1位となった。小売業とサービス業では、2期連続で「ニーズの変化」への対応が大きな割合を占めている。

## DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

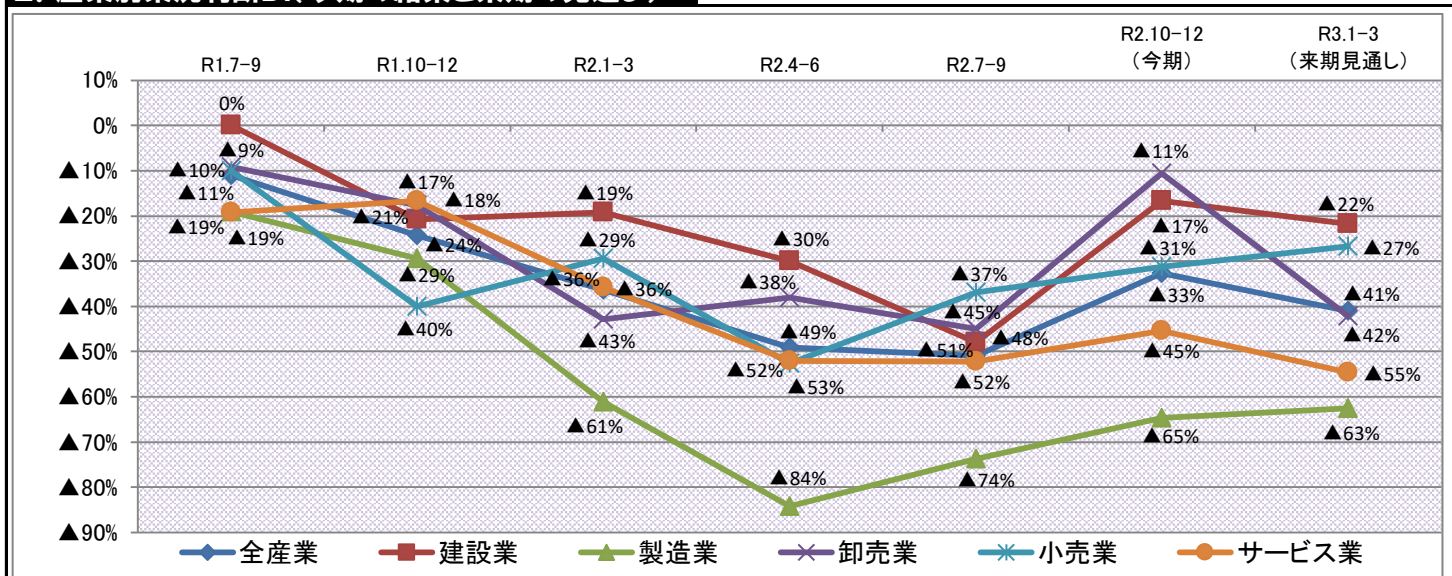
## DATA

- 調査期間: 2020年12月11日～12月21日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業136社
- 有効回答企業数: 100社(74.1%)

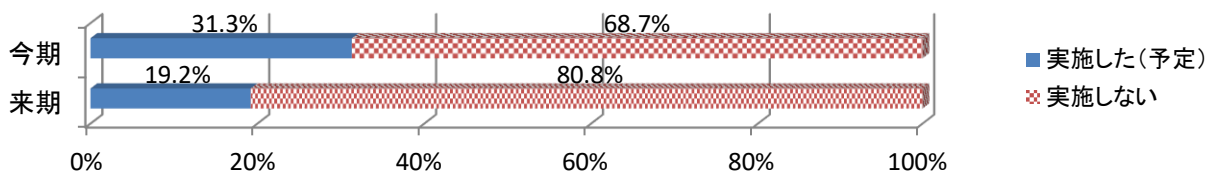
## 1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲32.7%	18.29%	▲42.4%	15.37%	▲21.2%	▲3.6%	▲35.1%	12.17%	▲12.2%	▲9.5%
建設業	▲16.7%	31.33%	▲16.7%	48.72%	▲4.2%	11.22%	▲16.7%	37.18%	▲20.8%	▲13.1%
製造業	▲64.7%	8.98%	▲76.5%	2.48%	▲47.1%	▲19.3%	▲81.3%	▲9.0%	▲11.8%	▲17.0%
卸売業	▲10.5%	34.47%	▲36.8%	33.16%	▲10.5%	4.47%	▲15.8%	29.21%	0.00%	0.00%
小売業	▲31.3%	5.6%	▲41.2%	▲6.2%	▲11.8%	3.24%	▲18.8%	6.25%	▲6.3%	▲6.3%
サービス業	▲45.5%	6.72%	▲50.0%	▲8.3%	▲36.4%	▲19.7%	▲50.0%	▲8.3%	▲18.2%	▲9.8%

## 2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



## 3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



## 4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 22.4%	需要の停滞 23.5%	需要の停滞 22.9%	消費者ニーズの変化への対応 17.8%	利用者ニーズの変化への対応 22.2%
2位	熟練技術者の確保難 20.9%	従業員の確保難 13.7%	従業員の確保難 16.7%	需要の停滞 15.6%	需要の停滞 22.2%
3位	民間需要の停滞 17.9%	人件費の増加 11.8%	販売単価の低下・上昇難 12.5%	大型店・中型店の進出による競争の激化 11.1%	大企業の進出による競争の激化 7.4%
4位	官公需要の停滞 10.4%	製品ニーズの変化への対応 7.8%	人件費の増加 10.4%	購買力の他地域への流出 8.9%	新規参入業者の増加 7.4%